

2004年12月期第3四半期 業績説明資料

株式会社 テンアートニ
(東証マザーズ:3744)

第3四半期の業績のまとめ



- 第3四半期(04年1-9月累計)において、売上高、営業利益ともに前期通期を上回る進捗。
- Java関連事業において不採算案件発生するも、Linux関連事業の好調を受け業績順調に推移。
- 上場による資金調達(520百万円)の結果、自己資本比率は76.9%に。手元資金残高は724百万円。

第3四半期(累計)業績の概況



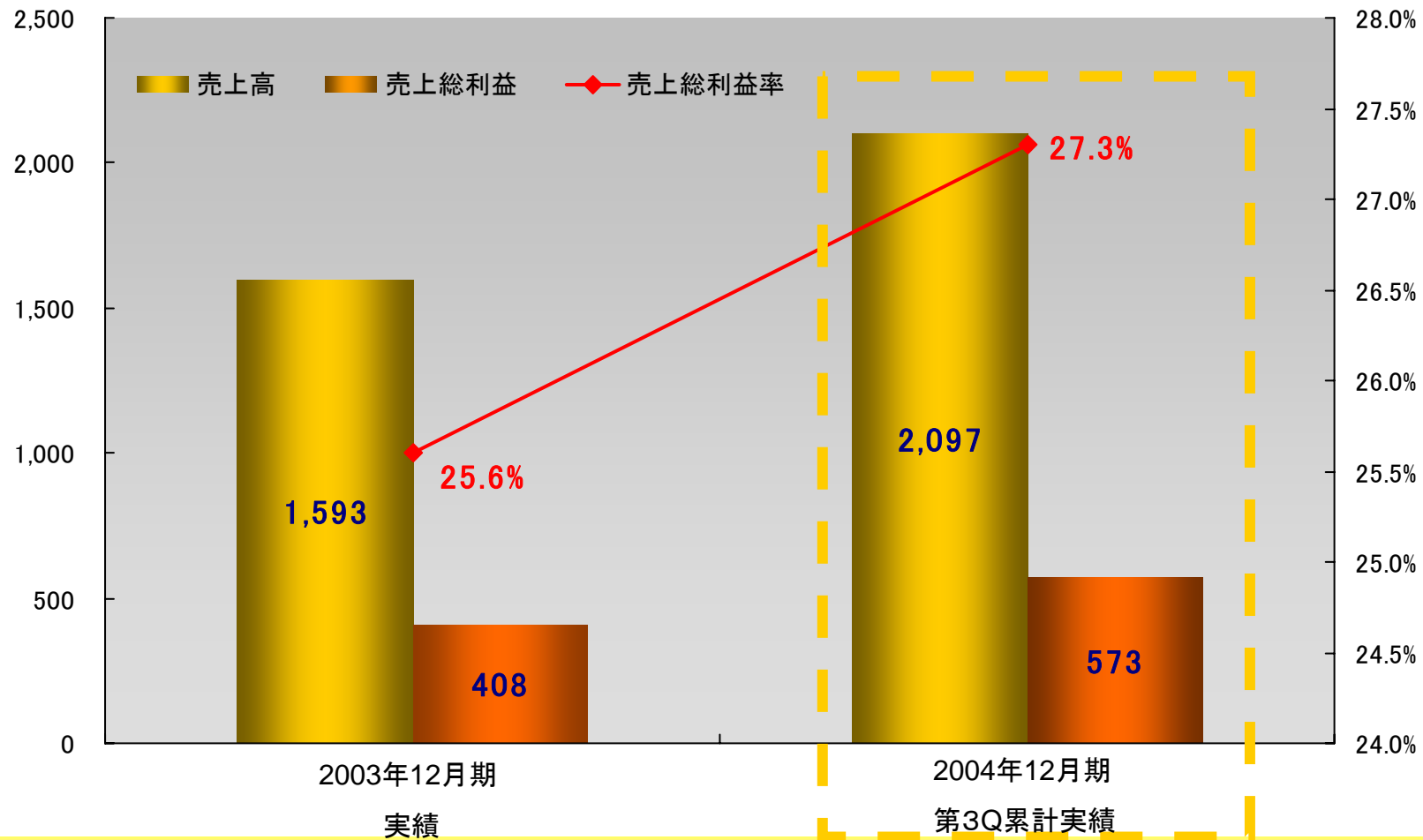
[単位:百万円]	2003年12月期 実績	2004年12月期 第3四半期実績 (04年1-9月)	2004年12月期 予想 (8月5日公表)	進捗率 (%)
売上高	2,594	2,871	3,397	84.5%
<Linux関連事業>	<1,593>	<2,097>	<2,459>	85.3%
<Java関連事業>	<1,000>	<773>	<937>	82.5%
営業利益	156	166	228	72.8%
経常利益	156	148	215	68.8%
当期純利益	227	207	291	71.1%

事業別売上高・売上総利益

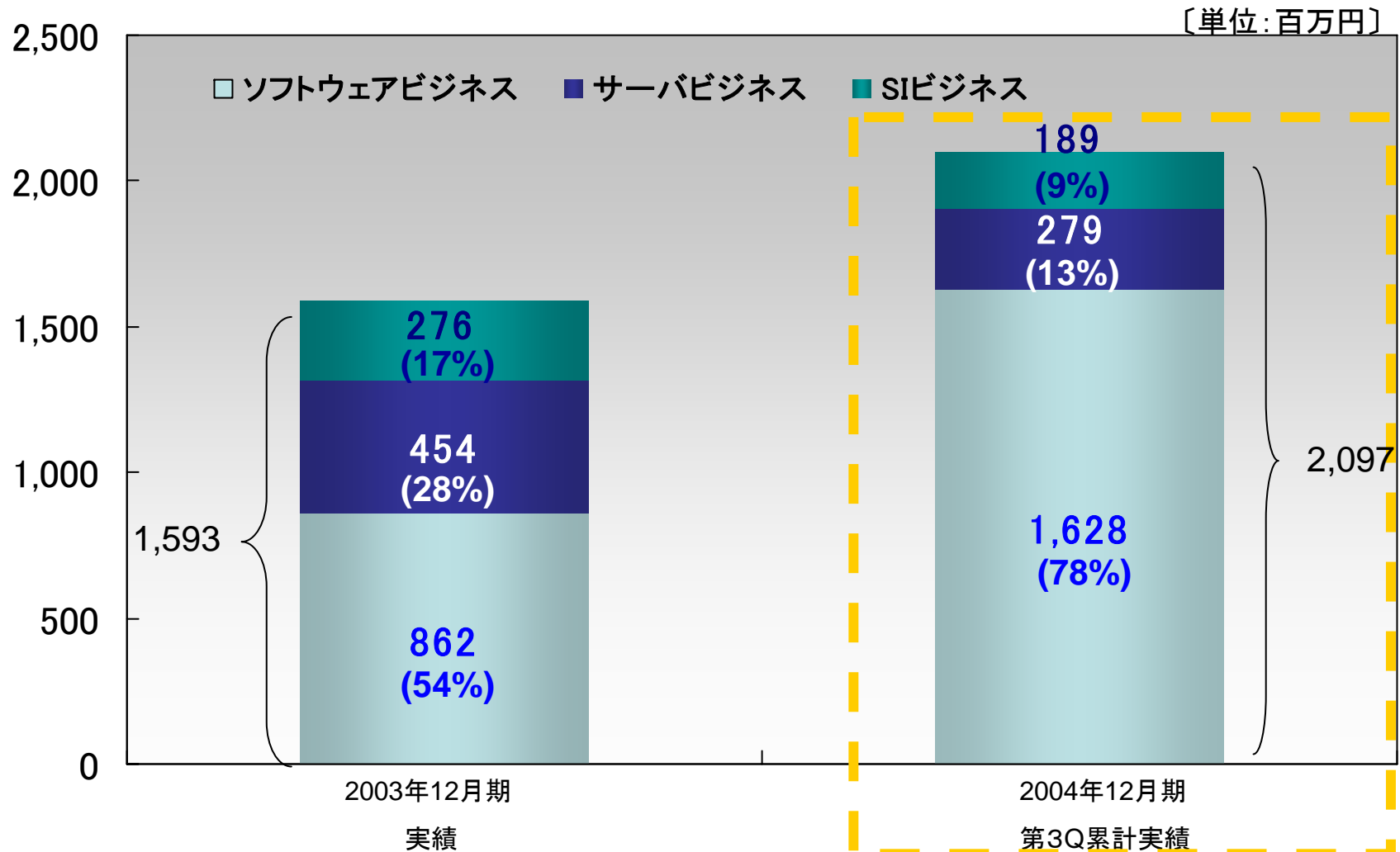


Linux関連事業

[単位:百万円]



Linux関連事業売上高の内訳

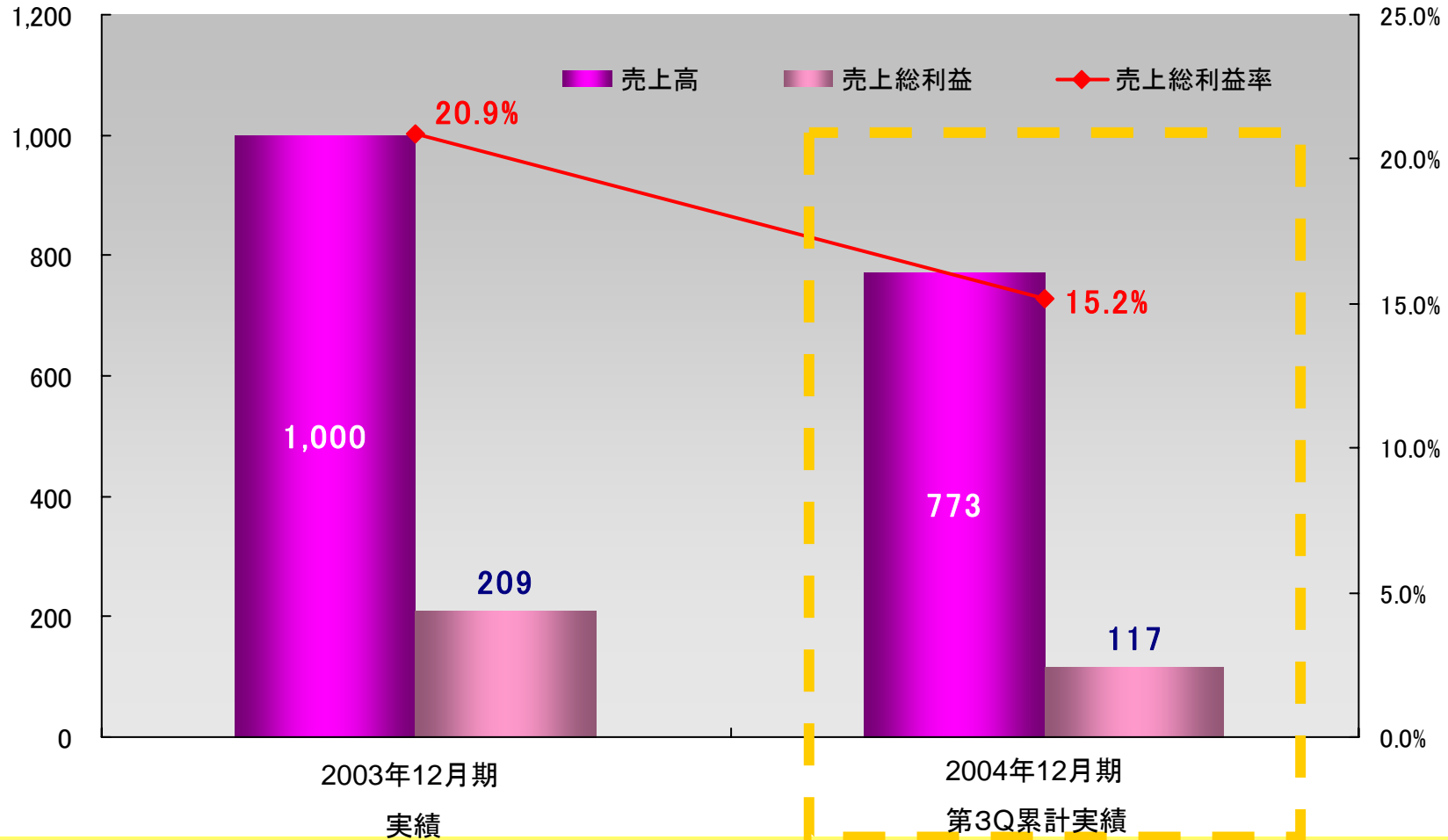


事業別売上高・売上総利益



Java関連事業

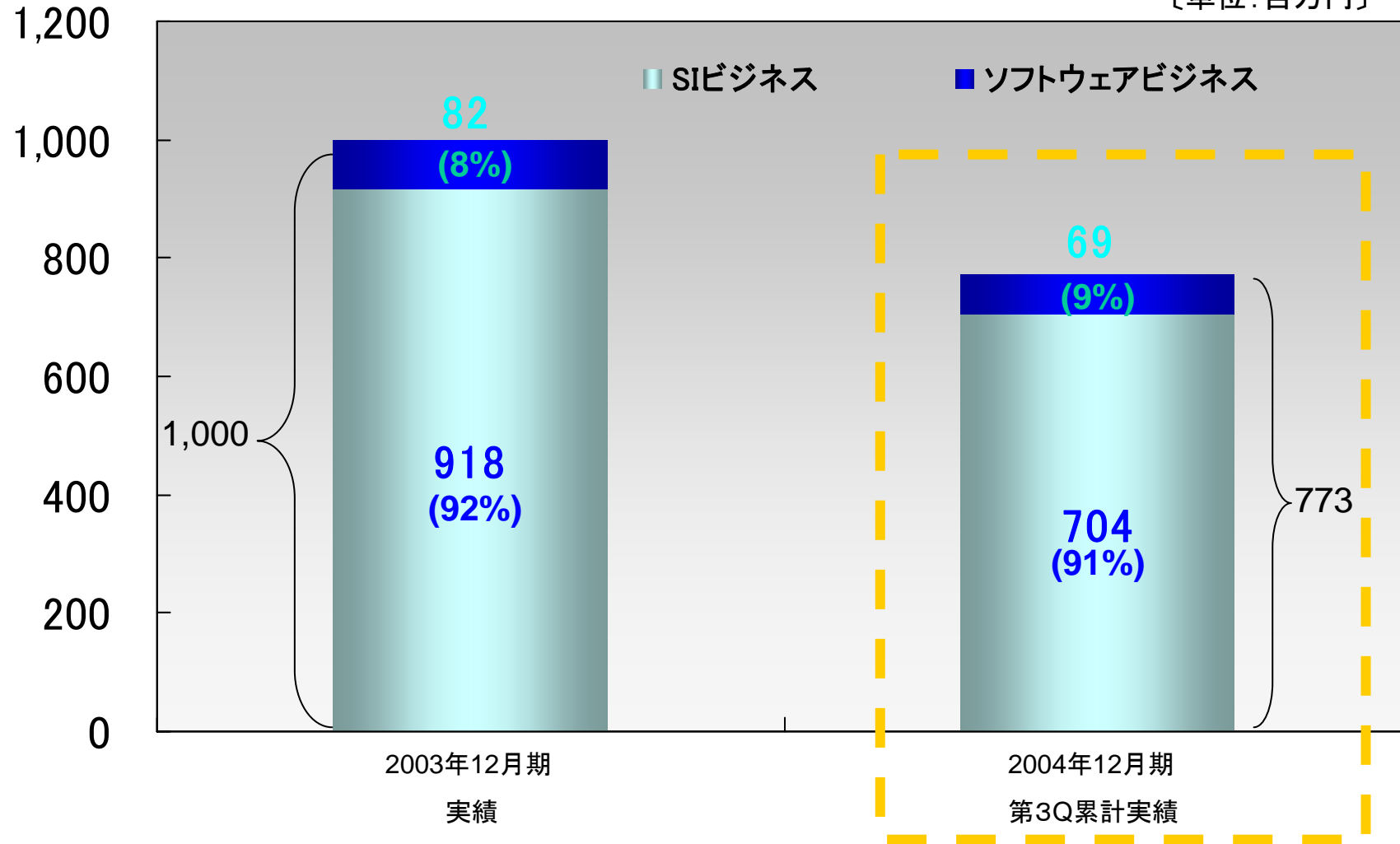
[単位:百万円]



Java関連事業売上高の内訳



[単位:百万円]



第3四半期末貸借対照表



[単位:百万円]	2003年12月 期末	2004年12月 第3四半期末	増 減
流動資産合計	1,076	1,694	+618
固定資産合計	149	207	+58
資産合計	1,225	1,902	+677
負債合計	491	439	△52
資本合計	734	1,462	+728
負債及び資本合計	1,225	1,902	+677

第3四半期キャッシュ・フローの状況



〔単位：百万円〕

	2003年12月期	2004年12月期 第3四半期 (04年1-9月)
営業活動によるキャッシュ・フロー	249	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150	520
現金及び現金同等物の増加額	78	470
現金及び現金同等物の期首残高	175	254
現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高	254	724

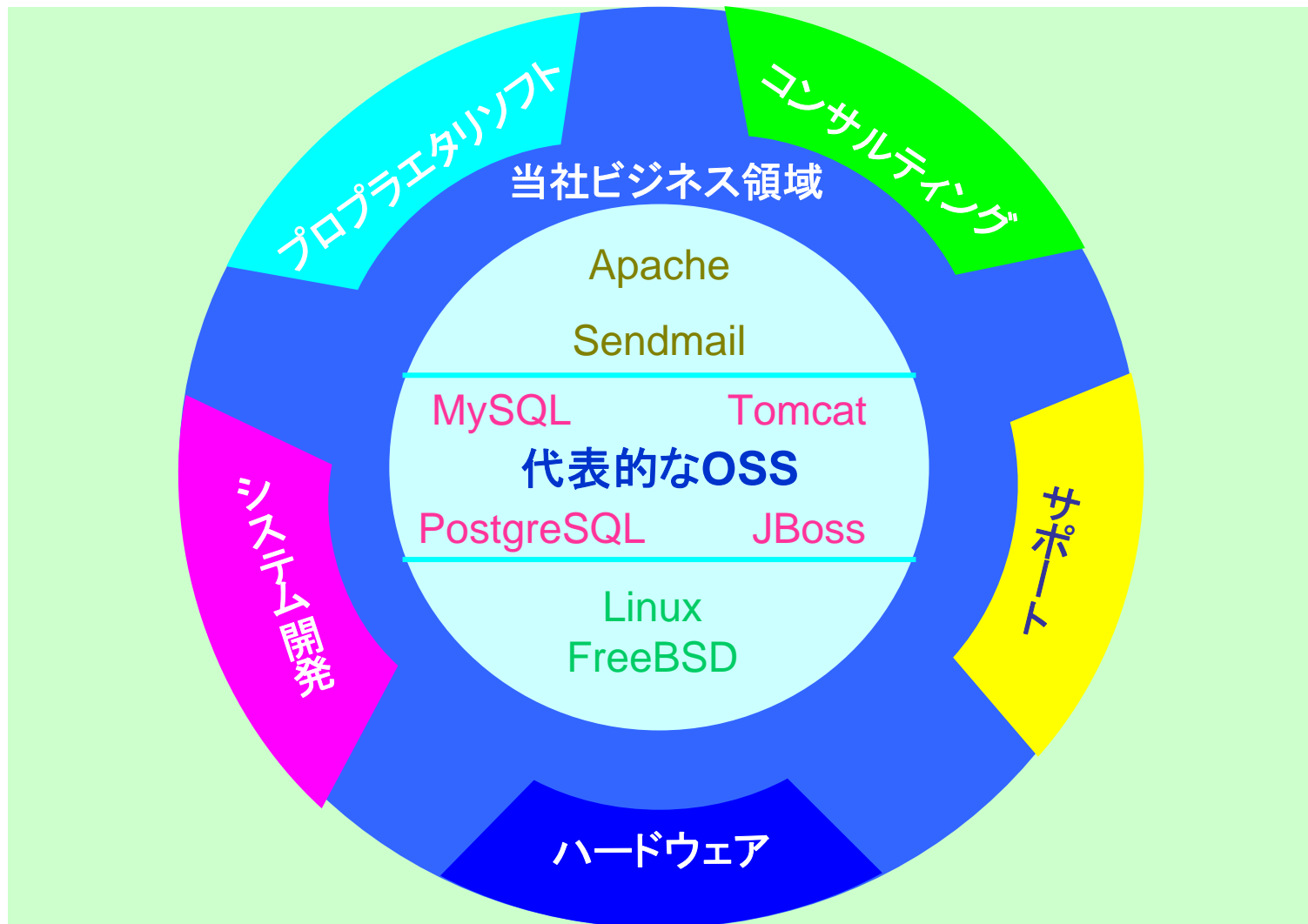
業界動向と今後の取り組み方針

■企業のオープンソースソフトウェア導入 意欲高い

一方で課題も・・・

- ✓ サポート体制に対する不安
- ✓ 運営管理に対する不安 等

OSS(オープンソースソフトウェア) エンタプライズシステム



当社の今後の方針について



オープンソース時代におけるリーディングカンパニーを目指す

オープンソースマーケット
規模・用途拡大

=

ユーザーの導入意欲高い



サポート・運営管理に対する不安

ソリューションの提供

強み

オープンソースでインフラ(Linux)からアプリケーション(Java)まで対応できるワンストップソリューションの提供

- 業界トップクラスのオープンソースソフトウェア(LinuxやJavaソフトウェア)を使ったシステム構築実績
- 会社設立以来積み上げてきたLinuxサポートナレッジベース

Linux事業の取り組み方針



市場の変化

用途の拡大

ユーザー層の変化

エンタープライズから中規模
まで

対応

テンアートニのソリューション

オープンソースソフトウェア・プロプラエタリソフトウェア
製品・ハードウェア製品・コンサルティング・サポート・シ
ステム構築の複合提案

Linux事業の取り組み方針



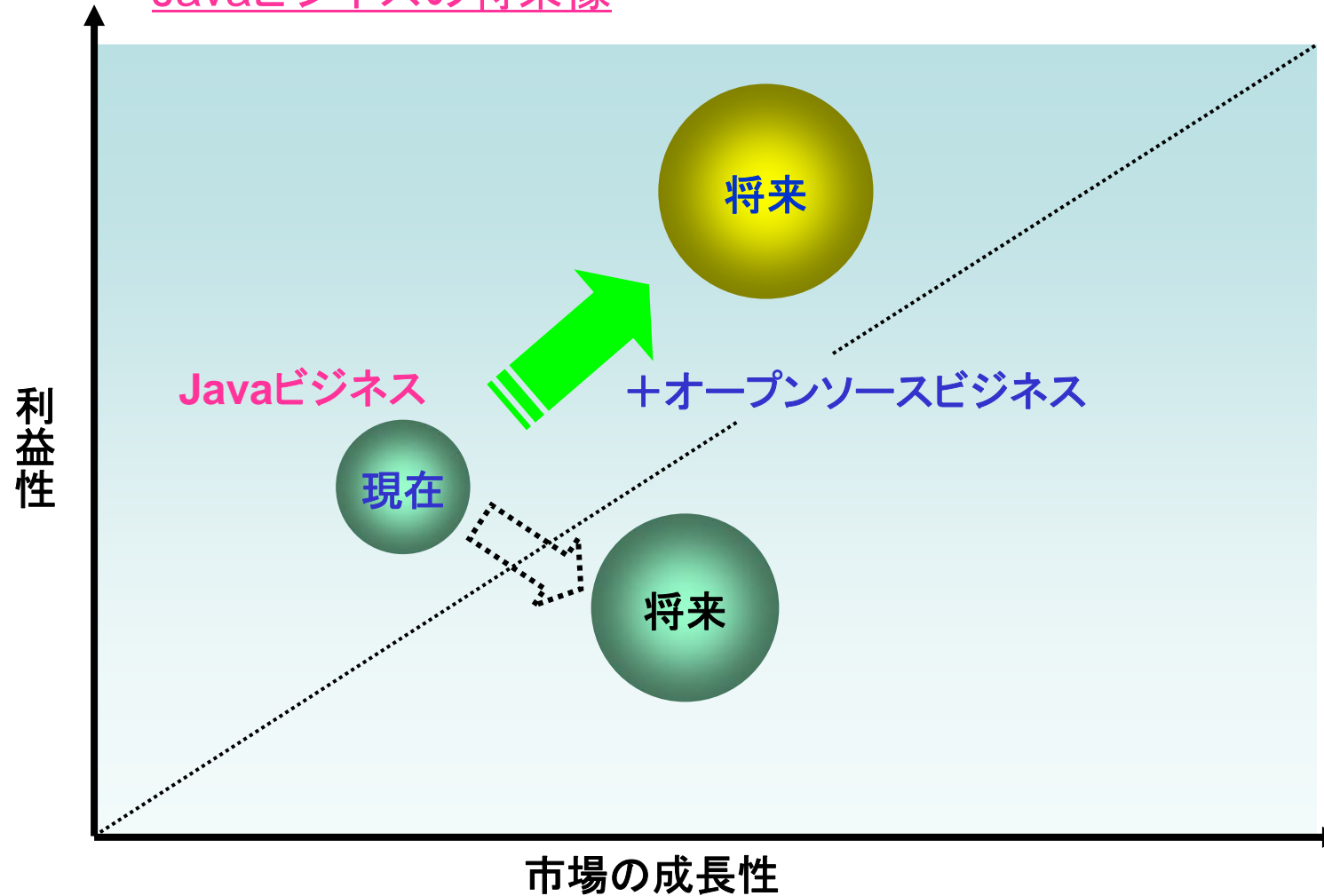
具体的には

- ✓ 「Red Hat Enterprise Linux Plus」シリーズ拡充
 - Red Hat Enterprise Linux Plus ServerProtect
 - Red Hat Enterprise Linux Plus HDE Controller
- ✓ 「LifeKeeper for Linux」販売強化
- ✓ 「EasyNetBox」シリーズ強化
 - CertWorker for EasyNetBox
- ✓ オープンソース開発コミュニティ支援

Java事業の取り組み方針



Javaビジネスの将来像

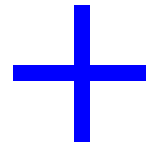


Java事業の取り組み方針

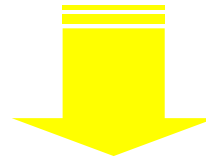


オープンソースソフトウェアビジネスへの本格参入

豊富なWebアプリケーション開発
経験と技術力



オープンソースソフトウェア



- コンサル & サポート
- システム受託開発
- 製品製造販売

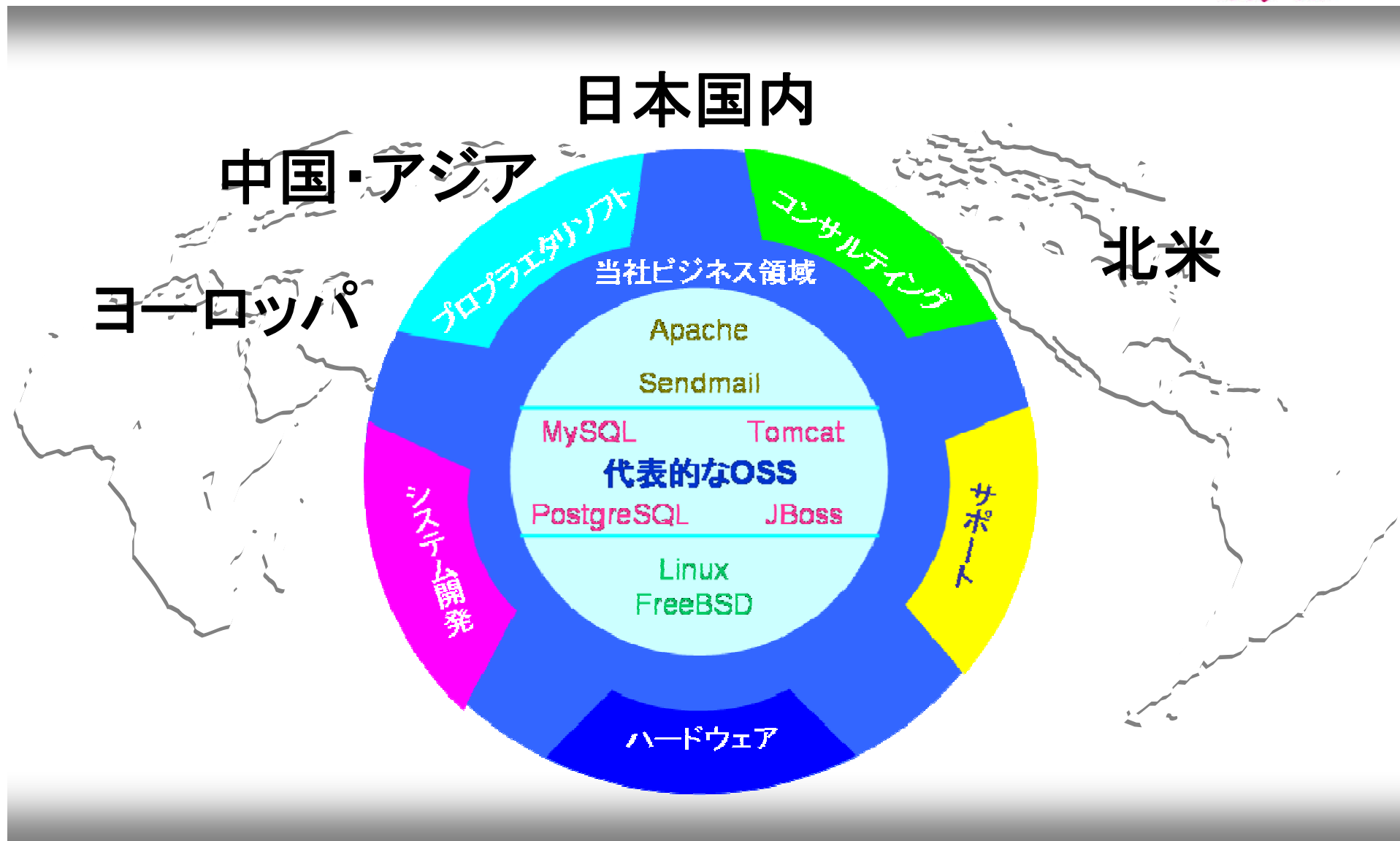
Java事業の取り組み方針



具体的には

- ✓ 「TenArtni Ninja-VA Framework」製品リリース
→ オープンソースのシステム開発用ミドルウェア
- ✓ 「Red Hat Application Server Plus」販売
→ Javaアプリケーションサーバに付加価値サポートサービスを追加
- ✓ OSSによるWebアプリケーション構築支援サービス

積極的な事業提携、M&Aで成長を加速!



社内体制の整備



管理体制の充実

方針: 成長の持続

行動: 常に自己変革を追及

変化に対し柔軟に対応できる組織作り



04年11月より改善委員会の活動開始

人事評価制度・教育制度の見直し

情報・セキュリティ・リスク管理の強化

社内規程の再整備



満足度向上

取引先様

株主様

社員

ご注意



業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。